

昭和

議会だより

第

71

号

平成26年4月15日 3月定例会

＜群馬県昭和村議会＞



2・3

平成26年度予算

4・5

3月定例会で決めたこと

10～13

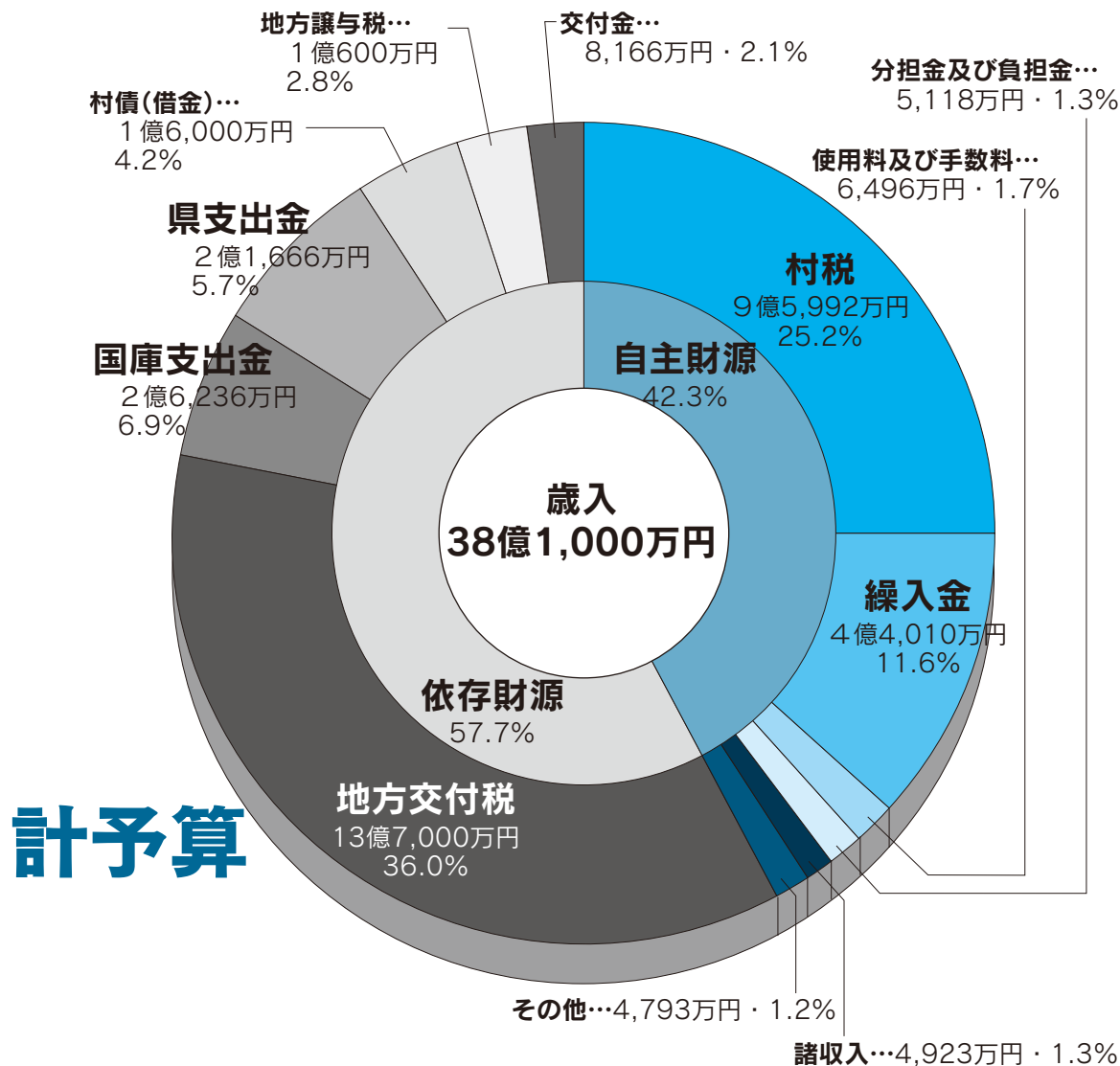
村の姿勢を問う

16・17

みんなの声

づくり 事業目白押し

平成26年度一般会計予算案、5つの特別会計予算案が提出され、全て原案のとおり可決しました。
 なお、今回は、予算額の万円未満を四捨五入したため、必ずしも合計額と一致していません。



歳入

村税は、村民税と固定資産税がともに増収が見込めることから、前年度比2・3%の増、地方交付税は、平成25年度普通交付税交付額等から推計し、前年度比1・5%の増となりました。歳入総額に占める自主財源の割合は42・3%、依存財源は57・7%です。今後も、人口減や少子高齢化、行政ニーズの多様ななどにより、地方自治体を取り巻く環境が大きく変化の中で、自立的な財政運営が求められています。

今年度の新たな事業

総務課

- 防災行政無線実施設計、防犯カメラの設置、防犯灯のLED化

企画課

- 第5次総合計画策定
- 観光スポット整備、景観形成の実現に向けた基本計画策定

保健福祉課

- おむつ代等日常生活用品助成金支給

- 臨時福祉給付金、子育て世帯臨時特例給付金の給付

産業課

- 小型家電の回収

建設課

- 新築住宅建設補助金の交付

教育委員会

- 社会体育館耐震改修工事
- 大河原小学校大規模改造工事(25年度からの繰越)

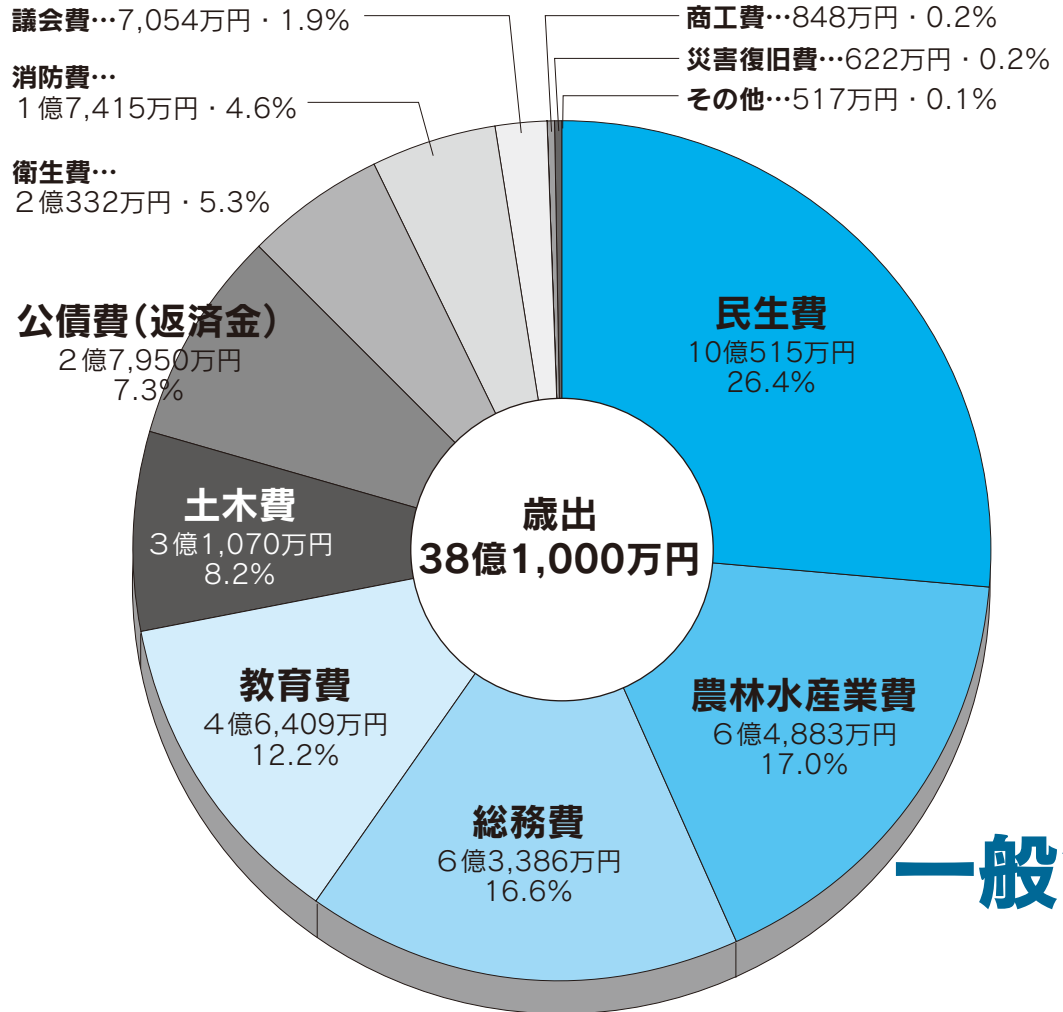
※投資的経費とは、道路、学校、農業施設の建設等その支出の効果が資本形成に向けられ、施設等がストックとして将来に残るものに支出される経費です。

平成26年度
予算

安心・安全な村

歳出

義務的経費である人件費、扶助費、公債費の合計は、15億267万5千円で、前年度比1.8%の増、一方、投資的経費は、3億8790万9千円で、前年度比8.3%の増となりました。また、今年度は第5次総合計画の策定を進めるとともに、防犯カメラの設置や防犯灯のLED化、防災行政無線を整備するための実施設計に着手します。なお、国営赤城西麓土地改良事業の県納入分（9777万1千円）が今年度で終了となります。



予算総額 **62億788万円**

特別会計予算

(前年度比4.2%増)

総額 **23億9,788万円**

国民健康保険特別会計	11億1,466万円	(4,867万円増)
簡易水道事業特別会計	1億1,978万円	(▲935万円減)
農業集落排水事業特別会計	3億4,950万円	(1,950万円増)
介護保険特別会計	7億3,548万円	(3,558万円増)
後期高齢者医療特別会計	7,847万円	(192万円増)

(カッコ内の数字は前年度比)

3月定例会は、3月4日から17日までの14日間の会期で開催されました。

初日に村長から行政報告を受け、条例の制定1件、条例の一部改正6件、補正予算6件、平成26年度一般会計及び特別会計予算など合計23議案について提案理由の説明があり、教育委員会委員の任命同意と平成25年度一般会計補正予算を可決。最終日に、ほかの21議案について質疑、討論、採決を行い、原案どおり可決。同日、上程された副村長の選任同意については否決しました。

人事

教育委員会委員の任命同意

教育委員会委員に板橋芳郎氏を再任。
(全員賛成)



(沼田市)

副村長の選任同意

副村長人事に関して同意を求める議案が提出されたが否決。
(賛成少数)

条例の制定

定住に伴う新築住宅建設補助金交付条例の制定

本村に定住するため、新たに住宅を建設する人に補助金を交付し、人口の増加を図ることを目的とする。総床面積が50㎡以上200㎡未満であり、配偶者を有する世帯責任者の年齢が45歳以下であること。また、村税等に滞納がないことなどが要件である。

建設補助金の額

①村内業者の施工による新

築住宅の場合 100万円
②村外業者の施工による新築住宅の場合 80万円
(全員賛成)



建設補助金が定住対策の起爆剤に

条例の改正

区の設置及び組織に関する条例の一部改正

中野上区と中野下区が合併し、平成26年度から中野区として区の運営を図る。
(全員賛成)

福祉医療費支給に関する条例の一部改正

受給資格者証の交付を受けた者の受給資格が有効期間満了後においても明らかであると認めるときは、更新申請がない場合でも、有効期間の更新が可能となる。
(全員賛成)

小口資金融資促進条例の一部改正

返済負担軽減策として、25年度以前に融資を受けた者を対象に、融資期間を最長で3年延長が行える。また15年から実施している借り換え制度、21年12月24日から実施している借り換え条件の緩和について継続する。
(全員賛成)

簡易水道事業給水条例の一部改正

使用料、新規加入負担金にかかる消費税率を4月1日から8%に変更する。
(賛成多数)

農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

使用料にかかる消費税率を4月1日から8%に変更する。
(賛成多数)

戸別浄化槽の設置及び管理に関する条例の一部改正

使用料にかかる消費税率を4月1日から8%に変更する。
(賛成多数)

その他

公の施設の指定管理者の指定

農産物加工所「飛躍」の指定管理者について、これまでの実績を勘案し、昭和村さくら工房を指定する。指定期間は平成26年4月1日から3年間。(全員賛成)



農産物の高付加価値化を目指して

村道路線の廃止・認定

路線の終点に変更が生じた板戸観音平線を廃止し、新たに板戸観音平線、中原16号線を認定する。また、路線の終点に変更が生じた大日向上平線を廃止し、新たに大日向上平線を認定する。今回認定した3路線の延長は704.3mとなり、1310.1mの延長減となる。
(全員賛成)

3月定例会

大河原小大規模改造へ2億1,276万円を計上

平成25年度 補正予算

一般会計補正予算(第7号)

歳入・歳出1億8,562万8千円を追加し、総額は38億7,012万6千円。

【主な歳出】

行政区除雪協力金	170万円増
第2保育園調理室修繕料	324万円増
除雪作業費	7,000万円増
全国瞬時警報システム自動起動装置設置工事費	1,543万5千円増
大河原小学校大規模改造費	2億1,276万4千円増



大規模改造工事が始まる大河原小学校

国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

歳入・歳出1,593万4千円を追加し、総額は11億5,590万7千円。

【主な歳出】

一般被保険者療養給付費	1,770万7千円増
人間ドック補助金	125万円増
一般被保険者療養給付費等償還金	1,573万5千円増

簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

歳入・歳出558万4千円を減額し、総額は1億2,724万4千円。

【主な歳出】

監視システムリース料	400万円減
消費税	200万円減

農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)

歳入・歳出1,030万円を減額し、総額は3億2,030万円。

【主な歳出】

処理施設維持管理委託料	200万円減
新規管路工事費	200万円増
戸別浄化槽設置工事費	1,220万円減

介護保険特別会計補正予算(第2号)

歳入・歳出34万3千円を追加し、総額は7億893万2千円。

【主な歳出】

介護サービス等諸費	1,756万2千円増
介護予防サービス給付費	2,227万3千円減
特定入所者介護サービス費	681万6千円増

後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

歳入・歳出135万円を減額し、総額は7,519万9千円。

【主な歳出】

特定健康診査委託料	49万7千円減
人間ドック補助金	22万5千円減
後期高齢者医療広域連合納付金	153万4千円減

総務民生常任委員会

村政一般、庶務、民生、保健、他の委員会に属さない事項を所管

村内全ての防犯灯をLEDに切り替え

3月11日、総務民生常任委員会を開催し、付託された「協同労働の協同組合法（仮称）」の速やかなる制定を求める意見書に関する陳情や、新年度予算案について審査を行った。

予算案を慎重審査

付託された新年度予算案について審査を行ったところ、歳入については、村税が村民税と固定資産税がと



豪雪による被害状況を調査

コスモス畑の管理、空き家の把握などについて意見が出た。

民生費では、消費税の引き上げに伴い、低所得者及び子育て世帯への負担を緩和するための臨時福祉給付金、子育て世帯臨時特例給付金が計上された。新規事業としては、おむつ等乳幼児日常生活用品給付費が計上された。

消防費では、デジタル防

もに増収となり、地方交付税が2000万円の増額となった。

総務費では、村内の全ての防犯灯をLEDに切り替えるためのリース料、防犯カメラ設置工事費、第5次総合計画策定業務委託料などが計上された。また、路線バスの見直し、苗畑の

災害行政無線整備のための実施設計委託料が計上された。

このほか、各会計予算など各会計全般について、慎重審査を行った結果、一般会計予算、国民健康保険特別会計予算、介護保険特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予算いずれも、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

「協同労働」を趣旨採択

「協同労働」とは、働く人々が出資をし、経営にも参画する働き

方のことで、民間企業とは違い、雇用する側と雇用される側の区別はない。現在、このように出資・経営・労働を一体化して働いている人たちは、労働者協同組合やワーカーズ・コレクティブ、農村女性ワーカー

ズ、障害者団体などに広がり、10万人を超えている。

「協同労働」が法制化され、労働者協同組合などが法人格を取得できれば、金融機関からの融資を受けたり、自治体の委託業務を請け負ったりすることも可能となる。

また、法制化を求める声の高まりを受け、国会では超党派の議員連盟が設立されているため、全会一致で趣旨採択とした。



堤村長から村消防団へ消防自動車の引き渡し

文教産建常任委員会

教育、産業、経済、土木、建設、簡易水道、農業集落排水等に関する事項を所管

グラウンド・ゴルフ場整備を採択

3月12日、文教産建常任委員会を開催し、現地調査を行った後、付託された請願等の審査を行った。

特別会計は全会一致で

付託された新年度予算案について審査を行ったところ、一般会計のうち、農林水産業費では、農業委員の報酬を引き下げ前の水準まで戻すことについて意見が出され、今後、検討してい

きたいとの答弁だった。また、道の駅・駅長の権限強化について意見が出た。

土木費では、村道維持補修工事費が大幅に増となった。新年度予算に、人口減少を抑制するとともに定住対策のための「新築住宅建設補助金」が計上された。教育費では、大河原小学校大規模改修工事（25年度からの繰越事業）が夏休み期間を中心に行われる。また、社会体育館耐震工事費が計上された。

このほか、特別会計予算など各会計全般にわたり活発な質疑や意見交換を行った。採決を行った結果、一般会計については賛成多数、簡易水道事業特別会計予算と農業集落排水事業特別会計予算に

ついては、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

3件の請願等を審査

「村道森下赤城原線沿い村有林の伐採」についての陳情では、当該村道は、南側の村有林の樹木が太陽光線を遮り、冬期間は路面が凍結する。道路自体も傾斜しており、車両がスリップし、赤信号でも止まらないケースもあり、交通事故も発生していることから、全会一致で採択とした。

によるひび割れや農業集落排水事業による路盤の沈下などが見られることから、全会一致で採択とした。

「村営の常設・グラウンド・ゴルフ場の整備」を求める陳情では、多くの高齢者が生涯スポーツを楽しんでおり、村民の健康づくりに役立つことから、全会一致で採択とした。



村道鎌沢南小学校線について説明を聞く委員等



冬期間の路面凍結が危惧される村道森下赤城原線

全員協議会

豪雪により甚大な被害

2月14日から15日にかけて降り積もった豪雪により、村内各所で被害が出た。特に、農業用パイプハウスの大半が倒壊し、収穫を間近に控えたイチゴやウド等の農作物は全滅、または出荷できない状況となった。また、この豪雪により、小・中学校の2日間の休校や路線バスの運休、通行止め、家屋の倒壊、除雪中の事故などが発生した。

こうした状況を踏まえ、

2月18日に全員協議会を開催。当局から、村の対応や被害状況等について報告があった。また、21日に、再び全員協議会を開き、被害状況について現地調査を行うとともに、国に対する緊急要望について協議を行った。

首相官邸へ緊急要望

2月26日には、佐藤祐文横浜市長の案内により、緊急要望書を持って、首相官邸に菅義偉内

閣官房長官を訪問。要望内容については、①激甚災害として早期の

指定、②道路除雪費等に係る国庫支出金総額の確保、③被災農業用施設の助成、④農畜産物被害による収入減の支援、⑤復旧・経営再建資金に対する利子補給の5点である。また、28日には、県知事、県議会議長に同様の要望書を提出した。なお、被害額は、約6億9000万円(3月19日現在)とのことであり、豪雪により被害に遭われた方々には、心からお見舞い申し上げます。



菅官房長官に緊急要望書を提出

提出された議案等と賛否一覧

※○は賛成 ●は反対 ※議長は、採決に加わらない。		山田博昌	加藤美昭	兵藤喜孝	加藤生	角田茂	星野吉一	横坂先夫	倉澤俊雄	中里信幸	林幸司	高橋昇三	藤井富夫
議案第1号	教育委員会委員の任命同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第2号	区の設置及び組織に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第3号	福祉医療費支給に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第4号	小口資金融資促進条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第5号	定住に伴う新築住宅建設補助金交付条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第6号	簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—
議案第7号	農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—
議案第8号	戸別浄化槽の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—
議案第9号	公の施設の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第10号	村道路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第11号	村道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第12号	平成25年度一般会計補正予算(第7号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第13号	平成25年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第14号	平成25年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第15号	平成25年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第16号	平成25年度介護保険特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第17号	平成25年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第18号	平成26年度一般会計予算について	●	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	—
議案第19号	平成26年度国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	—
議案第20号	平成26年度簡易水道事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第21号	平成26年度農業集落排水事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第22号	平成26年度介護保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—
議案第23号	平成26年度後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—
議案第24号	副村長の選任同意について	●	○	●	○	○	○	●	●	●	○	●	—

行政視察

幼小中一貫教育の取り組みなどを視察

香川県直島町
なおしまちょう

小学生の英語能力
非常に高い

1月20日から22日にかけて、文教産建常任委員会で高知・香川2県の行政視察を行った。

瀬戸内海に浮かぶ27の島々からなる、白砂青松の美しい自然に囲まれた町。



直島町で中里委員長があいさつ

新たなリサイクルシステムを構築する環境産業を育成し、町内には有名な建築家が手がけた建物が多い。環境とアートの島でもある。幼・保一元化は昭和49年度から始まり、直島幼児学園条例を制定し、教育委員会が保育所、幼稚園の管理運営をしている。幼・小・中一貫教育は昭和51

年度から始まり、昭和63年度には町単独でJETプログラムによりAET（英語指導助手）を招致、小・中12年間一貫の英語教育をいち早く始めた。

また、小学校6年生は中学校へ英語授業を受けに行くなど、高い英語能力が培われている。最近ではNaoshima Egg（イングリッシュガイドグループ）推進委員会を設立し、町を訪れる外国人に対し英語によるボランティア活動を実施。小学生の英語能力は非常に高く、英語検定料金を町で負担するなど教育に関して非常に意欲的に取り組んでいると感じた。

高知県馬路村
うまじむら

柚加工品の売上げ
34億円に

馬路村は高知県北部の山

間部に位置し、人口は960人と少ない。平成20年10月には「日本で最も美しい村」連合に加盟。

村の製品であることを全面に出し、村自体をブランド化し売り込む「おらが村方式」が特徴的で、特産の柚加工品や、魚

梁瀬杉を利用した製品とともに、馬路村の名前を全国的に知らしめたほどである。特に柚を使用した村公認飲料「ごつくん馬路村」は年間600万本を売り上げる。

今では、柚加工品は年商34億円に達し、柚事業に携わる雇用者数も70人を超える産業へと成長した。



馬路村の特産品について説明を聞く

近年では結婚・出産・入学祝金、チャイルドシート補助金、引越補助金、留村奨励金、林業後継者奨励金など、若者定住促進事業を充実させる取り組みを行っている。

一般質問

昭和村公民館図書室の改善を求める



兵藤 喜孝 議員

教育長 利用しやすい図書室を目標に

問

村でも読書の大切さを伝えるために、小学校では母親による読み聞かせや親子家庭読書、読書週間などを設けて積極的な取り組みが行われている。

しかし、読書をするための大切な本や資料が置いてある村の図書室に目を向けてみると、「狭い」「わかりづらい」「借りづらい」という声が多く、到底村民の文化的な向上や村民の立場に立った図書室とは言えない。その証明として利用状況にも表れてる。

例えば、みなかみ町新治公民館図書室の平成24年度利用者数は2211人で、この数字には含まれていないが、土日にも開室することで多くの学生達の勉強場所にもなっている。それと比べ昭和村公民館図書室の利用者数は621人であり、土日は閉室していて学生達の勉強場所にもならず、とても残念。

一番の原因は、場所に

あると考える。場所の移設と村民の立場に立った図書室のサービスを願う、改善を求める。

答 教育長

本を読むことは、幅広い知識を身につけること、はもとより、情緒を育み、人生を豊かにすることに役立つ大切なことと認識をしています。

図書室の現在の蔵書数は約1万7600冊で、毎年30万円の予算を充て約300冊の良書を購入しています。加えて、県立図書館の貸し出し図書も配備しています。

このようにして、蔵書の充実を図ると共に、新刊や話題の本のコナーを設けたり、「広報しゅうわ」で毎月紹介したりするなど、利用しやすいように努めています。また、土日の開室については、隔週の土曜日を開室して「広報しゅうわ」でお知らせするなど村民の便宜を図っていたのですが、利用者が少なく、費

用対効果が望めず、現在では平日の午後6時まで延長して開室することにより対応しています。

図書室の場所の移設につきましては、現在よりも適切な施設や場所があればよいのですが。今後は、図書室とその隣の学習室を活用することも考えていきたいと思っています。

また、図書室のサービスについては、ご指摘のような「狭い」「わかりづらい」「借りづらい」といったこともあろうかと思いますが、利用しやすい図書室とすることを目標にサービスの向上を図りたいと考えています。

問

場所の提案として、今、道具置き場になっ

給食センターはどうか。スペースも広く、明るく、事務室もあり、鉄骨構造物でもある。また、駐車場もあり、改修工事が必要ではあるが、図書館に適している施設だと思つが村長はどうお考えか。

答 村長

利用等も含めて検討し、考えていきたいと思っています。



公民館図書室の改善を



星野 吉一 議員

姿勢問

消費税8%、10%への引き上げ に対する今後の農家対策を

村長 国の動向を見守り対処したい

問

消費税8%、10%への引き上げに対する今後の農家対策について伺いたい。村の基幹産業は農業であり、消費税が増税されることにより、農家への影響が大変大きいと予想される。スーパーなど小売店では、98円、148円、198

円などの表示が多く、この現状の中で、価格に対して3%、5%の上乗せをするのは難しい。また、増税の際には農家の販売価格が下がるのではないかと心配される。

消費税率が変わるが、簡易課税など、軽減税率の導入はあるのか。

答

村長

消費税の軽減税率については、2014年度与党税制改正大綱で税率10%時に食料品など生活必需品への軽減税率を導入すると明記されています。簡易課税制度につきま

しては、2014年4月1日より、みなし仕入れ率が一部の業種、金融、不動産について、それぞれ10%低い数字になることが決まっていますので、今後の国の動向を見守り、対処していかなければと思っています。

TPP、FTAに対する今後の対応は

村長 農産物輸出促進事業補助金を予算計上

問

TPP交渉が続き、農産物の主要5品目などの関税がどうなるのか、激しい協議が続いている中、FTA、EPAなど2カ国交渉も活発に行われている。

このような中で、村の農業が日本の農業から世界の農業に対応できるよう、村の農業も力をつけていかなければならない。今後、どのような対策をしていくのか。

答

村長

海外市場調査開拓につ

問

オーストラリアからアジアへ輸出される牛が和牛として売ら

いては、平成26年度予算で農商工が連携し市場開拓を行うため、農産物輸出促進事業補助金として予算計上しています。現在、村商工会では、群馬県農畜産物等輸出推進機構に参画し、海外市場を開拓するため、輸出対策、輸出の事業活動を促進していますので、本事業を商工会にお願いしようと協議をしています。

れており、日本の霜降りというブランドをとられたような状態である。台湾では、オーストラリアからの和牛の肉が日本の半額以下で売られている。

今後、日本から輸出をする場合、一番考えなくてはならないのは、人件費・生産費の削減だと思われる。

生産費の削減等については石川県で機械メーカーと共同開発で研究しているため、村でも視野に入れてはどうか。

答

村長

国内の消費者に信頼されるよう農畜産物の生産に力を入れていきたいと思っています。

ブランド力のある農畜産物、それらをしっかりと消費者に見極めていただく。また、外国の方々にも見極めていただけるような生産をしていただいた上で、今までも継続してきた海外の進出について、今後検討し、より一層前進できるように進めたいと思います。

一般質問

村として最大限の豪雪「復興支援策」を



林 幸司 議員

村長 村単独での見舞金交付案を作成



雪害により倒壊したイチゴハウスの撤去作業の様子

問 豪雪被害に心からお見舞い申し上げます。

全壊住宅へは、被災者生活再建支援法と同等な村単独支援を求める。

不足するパイプ資材の公平な供給へ、復興対策協議会の設置を求める。また、復興担当職員の体制強化を求める。

国と県の9割支援策に、村独自の温かい上乗せ支援策をお願いしたい。

答 村長

全壊住宅へ県の見舞金

を申請。村単独での見舞金交付案も作成中です。

被災材の処分費は全額村負担で、パイプ一時保管場所も確保しました。

復興対策協議会に準備する組織は必要なので準備を指示しました。

事務量を検討し職員配置を考えていきたい。

倒壊ハウスが2千を超え、まず撤去を何とかし、

農作物被害への支援策検討は準備すらできていませんが、いずれにしても、

復興がスムーズにできるよう頑張っていきたい。

赤城北麓の石綿管の更新は

村長 有利な補助活用へ調査事業を実施

問

発ガン性がある導水管の更新には20億円以上かかるが、国県85%補助なら受益者負担をなくしていただきたい。

桐久保が西麓に吸収合併されたように、合理化

答 村長

できないのか伺いたい。

625鈔。50年経過で

老朽化し早急に更新が必要。有利な補助活用へ調査事業を実施する。

少しでも負担軽減が図

公共インフラの維持管理や更新の計画は

村長 総合的にまとめた計画の策定を検討

問 新規よりも長寿命化に重点を置いた

公共施設等総合管理計画と第五次総合計画を整合性を持つて策定すべきではないか。

建築・土木などの技術系職員の採用を求める。

答 村長

橋梁長寿命化へ計画的な修繕に着手。道路ストック総点検が実施済みであり、望郷ライン修繕計画策定を予定しています。大河小の大規模改

修、社会体育館の耐震改修予算を計上。庁舎検討委員会を準備中。水道施設は毎年保守点検を実施し交換を進めています

が、広範囲な漏水調査を計画。老朽化が著しい北部と中央簡易水道の更新補助事業も検討していきたい。下水道は最適整備計画に基づき進めています。

これらを総合的にまとめた計画の策定や技術系職員の確保を検討していきたい。



加藤 生 議員

姿勢問

教育長の26年度の重点課題は

教育長 基礎学力の向上、豊かな心を育てる

問

昭和村の教育委員会が担当する事業は幅広い分野に亘っている。

その業務は大変重要な位置づけを持っており、村づくりは人づくりとも言われている。

板橋教育長は、事務局を統括する権限など重い役割を持っている。

今年度取り組む重点課題とそれぞれの基本的な取り組みをする姿勢を聞かせていただきたい。

答 教育長

学校教育では、児童・

大河原小改造工事は

教育長 26・27年度で計画

問

補正予算に計上された大河原小学校大規模改造に向けての基本的な工事の進め方について、説明をお願いしたい。

答 教育長

授業にできるだけ支障

がないように、夏休みを中心に、二力年かけて進めたい。26年度は屋根や外壁外回りを、27年度は教室等校舎内の改修を進める計画です。また、大規模改修により、30年から40年、校舎の寿命が延びると思います。

小学校の英語授業は

教育長 スピーチ、ヒアリングを身に付けさせる

問

小学校3年生から英語授業が取り入れられるようだが、スピーチやヒアリングの出来る子ども達にしたい。

答 教育長

小学校の英語教育を正式に教科にする事が提言されております。

5・6年生で週一時間

英語活動の時間が設定され、時間数を増やし、3年生から導入が検討されています。

子どもたちが英語でスピーチ、ヒアリング出来る力を身につけることを目指しています。国際化が進展している現在、大変重要であり必要なことと考えております。



東小学校でAET(英語指導助手)と



議員が行う提言などは、村政にどう反映されているのか。皆さんからの請願や陳情は議会採択後、どのように処理されているのか。その後の経過を追跡します。

信号機と歩道確保のためのガードレールを設置

(平成23年12月定例議会文教産建常任委員会付託)

問

平成23年11月に村PTA連絡協議会から提出された通学路安全対策に関する要望書の中で、主要地方道昭和インター線の居酒屋「くろほ」付近の路側帯が狭いため、道路脇の用水路に蓋をして通行可能にするなど、歩道拡張または注意喚起の表示等の要望がありましたが、通学路の安全は確保されたのでしょうか？



答

当該県道は交通量が多く、路側帯が狭いため、通学児童にとって危険な箇所となっています。水害等に備え、県道脇の用水路に蓋をすることはできませんが、県道に歩道と信号機を設置してもらうよう、関係機関に要請します。



その後

文教産建常任委員会による現地調査や沼田土木事務所（道路管理者）、沼田警察署と村当局担当者による現地調査が実施され、関係機関との協議がなされました。

平成24年1月には村当局から沼田警察署長宛に、県道昭和インター線と村道下藤井御門線が交差する交差点に信号機設置の要望書を提出し、平成25年12月に信号機が設置されました。

信号機と同時に歩道確保のためガードレールも設置され、児童生徒が安全に県道を渡って学校へ通うことができるようになりました。



信号機とガードレールが設置された交差点

みなさんからの請願・陳情

自 平成26年1月27日 至 平成26年2月20日

受理番号	受理年月日	件名	請願・陳情者	紹介議員名	付託委員会	審議結果
60	H26. 1.27	陳情書 村道森下赤城原線沿い村有林の伐採のお願いについて	赤城原第一区長 田中島 定 赤城原第二区長 真下 信秀	中里信幸	文教産建	採択
61	H26. 1.29	「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかなる制定を求める意見書に関する陳情書	日本労働者協同組合(ワークスコープ)連合会 北関東事業本部エリアマネージャー 村上 博典		総務民生	趣旨採択
62	H26. 2.14	請願書 村道鎌沢南小学校線・川額線舗装改良工事のお願い	川額区長 竹之内重秋	倉澤俊雄	文教産建	採択
63	H26. 2.20	村営の常設「グラウンド・ゴルフ場」の整備を求める陳情書	昭和村老人クラブ連合会 会長 廣田 忠一 体育部長 飯塚 一夫 ほか各地域単位クラブ会長	中里信幸 横坂先夫 倉澤俊雄	文教産建	採択

新春講演会

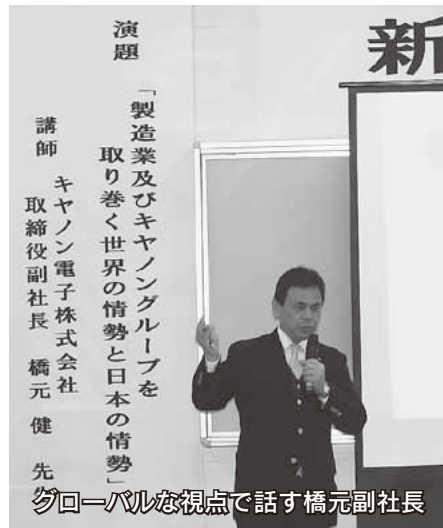
コミュニケーションをもつて昭和村との共生

期 日 平成26年1月13日

参加者 議員・農業委員・役場管理職等約50人

講師 キヤノン電子(株)取締役副社長 橋元 健氏

演 題 「製造業及びキヤノングループを取り巻く世界の情勢と日本の情勢」



新
演 題 「製造業及びキヤノングループを取り巻く世界の情勢と日本の情勢」
講師 キヤノン電子株式会社 取締役副社長 橋元 健 先
夕ローバルな視点で話す橋元副社長

日本のものづくりの流れとして1980年代はヨーロッパ・アメリカなどの先進国での現地生産であった。1990年代になると中国・タイ・ベトナム・フィリピンへ企業進出している。

日本の個々の企業は技術は高いが、最近では中国や韓国などの国々が迫っている。日本もそれぞれの会社の技術を結集してオールジャパンの体制を整えば強い。

TPP交渉が行われているが、加盟国12カ国のうち日本とアメリカで、世界のGD

P全体の3〜4割を占める。正否両方の立場からみて自分たちにとつてのメリット、デメリットを考えて見る。

日本はものづくりの国であり、今後もあり続けるためにも、国内への回帰が必要だが未だに国内に戻ってない。

日本製品の絶対的ブランド力と国内向けの生産確保、そして日本のものづくり(技術)の文化を残すことが肝要である。

製品開発に当たっては、相手(顧客)の立場になって考える。

※相手が、何を求めているか?

○お客様の立場に立っているか。

○自分達がやりたいことをやっていないか考え、言い訳をしない。

○出来ない理由を全て出し尽くす。そして、それをひっくり返す。

○努力しない会社はなくなる。

最後に昭和村との共生について、共に栄えて欲しいと願う。そのためには、お互いを理解することであり、今後はコミュニケーションが大切だとのことである。

議会の動き

1月

- 15日 ●群馬県市町村トップセミナー
- 20～ ●文教産建常任委員会視察研修(高知県馬路村、香川県直島町)
- 22日
- 24日 ●学校給食試食会
議会全員協議会

2月

- 8日 ●ウインターフェスティバル2014
- 14日 ●定例議長会
利根沼田学校組合議会議員協議会
広域圏定例議員協議会
- 18日 ●議会全員協議会
- 21日 ●議会全員協議会
- 24日 ●議会運営委員会
利根沼田学校組合議会定例会

- 26日 ●大雪による災害対策について
緊急要望書提出(首相官邸)

- 28日 ●大雪による災害対策について
緊急要望書提出(群馬県庁)

3月

- 4日 ●第1回昭和村議会定例会
本会議(初日)
- 5日 ●議会全員協議会
- 6日 ●議会全員協議会
- 7日 ●議会全員協議会
- 10日 ●本会議(第2日)
- 11日 ●総務民生常任委員会
- 12日 ●文教産建常任委員会
- 13日 ●昭和中学校卒業式
- 17日 ●本会議(最終日)
- 18日 ●議会広報編集特別委員会

- 20日 ●利根沼田地域県政懇談会

- 22日 ●村内保育園卒園式

- 25日 ●村内小学校卒業式
利根郡体育協会理事会

- 26日 ●群馬県町村議会議長会定期総会
議会広報編集特別委員会

4月

- 3日 ●議会広報編集特別委員会
- 5日 ●村内保育園入園式
- 7日 ●昭和中学校入学式
村内小学校入学式
- 9日 ●玉村町議会交流会
- 14日 ●利根地方総合開発協会理事会
定例議長会
広域圏定例議員協議会
利根沼田春季行政懇談会

今回の「みんなの声」は家族経営協定
を結び、昭和村の農業を担うカップル
に登場していただきました。



「あぐりーむ昭和」から
情報発信を



後藤 政昭さん 夫妻(滝寺)
知子さん

私達は、道の駅「あぐりーむ昭和」にある旬菜館で、自分達で栽培した果物や野菜、ハンドメイドの布小物等売っています。「あぐりーむ昭和」で行われた『昭和の日記念イベント』では、販売ブースで参加しました。

イベント等に参加して感じることは、自分の気に入った物を、気に入った場所で買う人が増えたのではないかと思いました。農産物でも安心安全は当たり前で、作った人の顔の見える事や、イメージできる物が求められています。昭和村は、野菜や果物の一大産

びっくろきょてん
吃驚仰天



竹内 正昭さん 夫妻(赤城原第二)
みどりさん

地ですが、都市部の方々はそれを知らない方がほとんどだと思います。そこで、昭和村には美味しい物、良い物があり、そして楽しめることがあると思ってもらえるように、道の駅である「あぐりーむ昭和」をもっと活用する事を提案したいと思います。遊びに来た人達が、気軽に参加できる様なフリーマーケットやクラフト体験等のワークショップを企画し、情報発信していければと思います。

私が昭和村に嫁いでビックリした事は、主人をはじめ若い世代の人達が農業を頑張っている姿です。

私は沼田市出身ですが、こんなに近くに若年層で農業を頑張っている人達が居ると云う事にとっても驚きました。そんな人達を目の当たりにして、自分も頑張りたいな、少しは力になれるかな?と思いました。

今まで一度も農作業の経験が無く、緊張しましたが、いざ畑に出させてもらって先ず感じたことは、純粹に楽しいと思えたことです。天候によって変わるけれど、太陽の光を浴びながらの作業はとても新鮮で、幸せな気持ちになりました。

でも、とても難しく、感覚も分からずに作業が遅くなり、足手まといになってしまい、焦る毎日でした。自信を無くしたり落ち込むこともありましたが、若妻会の皆に励ましてもらい、頑張っていく事が出来ました。同じ境遇の子達が多く、皆で支え合いながら楽しく生活が出来て、生涯の友人に出会えた事も、私にとっては宝となりました。

周りの人達も優しく、景色も良い昭和村に嫁ぐ事が出来て、私はとても幸せ者です。これから皆と支え合いながら頑張っていきたいと思います。

就農



高橋 郁裕さん 夫妻(入原上組)
ひとみさん

就農して2年が経ちます。自分が栽培した作物を収穫・出荷できる喜びを味わいつつも、安定出荷の難しさなど、農業経営について勉強の日々です。

以前は会社員でした。実家の家業である農業を継ぎたいと、2年前に就農しました。農業に転職という事で不安はないかと聞かれますが、自分にはなかったです。

それは、小さい頃から農業の危機と叫ばれていた中で、昭和村の農業は現在でも主幹産業として存在していたからです。

もちろん、現在でも、TPPの

問題や後継者不足など様々な課題がありますが、日本の誇れる産業を自分達世代がしっかりと経営し、盛り上げていきたいです。

将来になりたい職業上位に「農業」が入ることを夢見て…。

私達の願い



見城 保さん 夫妻(追分)
愛さん

昭和村は、他の市町村から比べ、人が多いイメージがあり、大きな強みでもあると思います。

私の地域では、農家の若い人達が集まり「三代目」と名付けて活動しています。

私達農家にとって、これからも生活していくうえで沢山の災害や被害と向き合っていかななくては

けません。

近年では、震災の原発問題や大気汚染等ありますが、記憶に新しい今回の大雪では全国的に大きな被害が出て、昭和村でも数多くのビニルハウスや物置等が倒壊しました。あまりに大きな被害のため、農業を諦めてしまう人もいるのではと私は思います。

子育てをしていくうえでも不安な事がつきませんが、少子化にも負けず、農業に興味を持った人がUターン・Iターンというように村に住みついて、四代目・五代目と続いていくって欲しいです。

最後になりましたが、私の住む赤谷・追分地区では初代の方達の『開拓魂』と水を大切にするという気持ちを含め、毎年秋に水汲み祭りというお祭りをします。興味のある方はぜひ参加して頂ければありがたいです。

家族経営協定とは

農業経営や生活、将来の目標などについて家族で話し合い、文章にまとめる、家族のルールづくりをします。農業委員会が主催で行われる年1回の家族経営協定調印式では、毎年多くの家族が協定を結んでいます。

地域でがんばる人

昭和村盆栽愛好会会長 吉良 保さん

昭和村盆栽愛好会の設立総会が平成10年6月15日、村公民館大会議室で催されました。

同愛好会は「東地区や南地区で別々に活動するよりも一つになって活動しよう」と設立されたもので、盆栽整形技術や培養を通じて、会員相互の親睦や心身の健全を図りながら盆栽美を追求することを目的としています。

主な活動として、年2回、昭和村多目的屋内運動場にて3月に整枝針金かけ講習会、4月に植え替え講習会を行っており、昭和の湯においては、さつき（開花時）展示、松柏類（有志）展示を行っております。

また、10月には技術向上を図る研修会（視察）を行い、毎年11月22・23日には昭和村公民館で開催される昭和村文化祭に盆栽展示を行っており、村内・村外の方から大変喜ばれております。



(赤城原第二)



村文化祭での盆栽展示は力作ぞろい

昭和村盆栽愛好会の会員数は現在26名（男性24名・女性2名）です。男女問わず、どなたでも入会できます。心よりお待ちしております。

春の健康ちよつとレシピ

(昭和村管理栄養士 堤 梨紗)

うどんの混ぜご飯

材料(4人分)

米…2合、うどん…100g、鶏もも肉…80g、まいたけ…40g、人参…25g、ごま油…小さじ1

①【めんつゆ…大さじ1、水…大さじ1、みりん…小さじ2、酒…小さじ2、砂糖…小さじ1/2】
ごま…小さじ2

作り方

- ①米は普通に炊いておく。
- ②うどんは2cm長さに切り、皮を厚めにむく。縦半分の短冊切りにする。すぐに酢水にさらしあくを抜く。10分くらいさらしたら水気を切る。
- ③鶏肉、まいたけは小さく切り、人参はいちょう切りにする。
- ④フライパンにごま油を熱し、鶏肉を炒め、色が変わったら、人参、まいたけ、うどんの順に加え、軽く炒める。
①を加え水分がほぼなくなるまで、炒め煮にする。
- ⑤ご飯に④とごまを混ぜ合わせる。
- ⑥器に盛りつけできあがり。



栄養価(1人分)

熱量…340kcal、塩分：0.4g

ワンポイントアドバイス

- ・うどんは酢水に長くつけすぎると香りやしやしきしき感が失われてしまいます。
- ・残った皮は捨てずに、繊維に沿って千切りにし、きんぴらにするとよいでしょう。

編集室から

2月14日から15日にかけて、村内に歴史的な豪雪が降りました。被害にあわれました皆様にご心よりお見舞い申し上げます。また、一日も早い復旧を心よりお祈り致します。

そして、区長さんや班長さん、地域の方々の献身的な除雪作業を頂きまして、孤立家庭もなく感謝を申し上げます。

3月は卒業や就職等で村の人口も減少しますが、それぞれの夢を叶えるために、目標に向かって羽ばたいて欲しいと願っております。

4月は入園や入学と言った出会いのときであります。

農耕民族である私はなぜか心せわしくなります。野菜の種まき・植え付けが始まり果樹の花が咲き誇り、安寧な一年であって欲しいと切に願うものです。

加藤 生 記

議会広報編集特別委員会

委員長 加藤 美昭

副委員長 兵藤 喜孝

委員

倉澤 俊雄 角田 茂

加藤 生 星野 吉一

山田 博昌 藤井 富夫

高橋 昇三